

行ってきました、修学旅行！



2年次生は、11月5日(火)から8日(金)まで、関西方面への修学旅行に行ってきました。京都市内の班別自主研修に1日、奈良の世界遺産である東大寺、興福寺、唐招提寺、法隆寺、薬師寺の見学に2日間をかけ、最終日をユニバーサルスタジオ・ジャパンで過ごす行程でした。

この旅行をとおり、世界中から認められる素晴らしい日本の文化や歴史を感じることができ、これらを学ぶことをとおして、「今、この時をいかに真剣に生きるか」ということに対し深く考えることができたものと感じております。また、千年経っても変わらず受け継がれている心を肌で感じ、自らの人生に取り入れていくことができれば、流行に左右されない精神力、ぶれない行動力を身につける一助になるものと考えております。

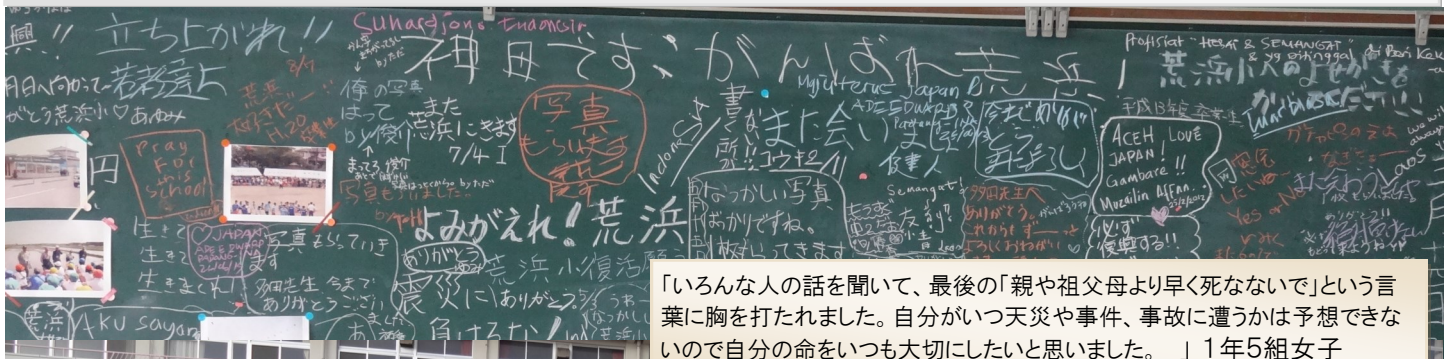
さらにこの旅行でよかったと感じたのは生徒諸君が自主自立、相互協力の精神で、けじめある生活を送りながら、お互いを思いやる行動ができたことです。このような様子が非日常でのことに終わらず、日々の生活の中で習慣化させることを目指してほしいと思います。

(2年次主任 中島崇裕)



1年次震災ボランティア活動

本校では、一昨年に現3年次生が石巻市で、その後も生徒会を中心に希望者が仙台市において震災ボランティアに参加するなど、継続した取り組みを行ってきました。9月にも1年次の希望者が生徒会の被災地ボランティアに参加し、活動を行いました。復興が進んでいるとはいえ、大きな被害を受けた地域では以前の状態とはほど遠く、住民の方々は不便な思い、苦しい思いを抱えて生活していらっしゃいます。そこで今回、この活動を是非年次全体で行いたいと考え、11月7日(木)に、1年次全員で仙台市若林区荒浜の、津波にのまれた小学校の清掃活動や仮設住宅の除草作業を行いました。参加者は様々な感想を抱いてきたようです。



「いろんな人の話を聞いて、最後の「親や祖父母より早く死なないで」という言葉に胸を打たれました。自分がいつ天災や事件、事故に遭うかは予想できないので自分の命をいつも大切にしたいと思いました。」1年5組女子

「テレビの映像を通してではあの光景は何度も見てきたはずなのに、実際に自分の目であの光景を見た時は言葉が出ませんでした。」

1年2組女子

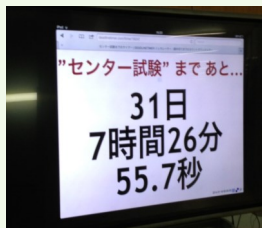
「荒浜小学校の黒板に残されたメッセージや津波の被害にあった時刻で止まった時計を見て、当時の風景が思い浮かんだ。300人もの命を救った荒浜小学校が今後もきれいに保存されていければ良いと思った。」

1年3組女子



センター試験まであと何日？

三年生の教室棟の前には、大きな電子黒板でセンター試験日までのカウントダウンを表示しています。今は最後の追い込みということで、放課後になると職員室前は質問のある生徒の。人だかりができています。三年生の皆さん。あとひと踏ん張りですよ！



部活動紹介「卓球部」



酒田西高校卓球部は、現在男子6名、女子9名で活動しています。東北・全国大会出場を目指し、確かな基礎技術の習得はもちろん、新しい技術を積極的に研究して取り入れています。11月に行われた県高校新人大会において、女子シングルスで全国高校選抜大会への出場権を獲得するなど、成果が表れ始めています。来年の県高校総体で、団体戦県ベスト8の壁を突破して上位大会に出場できるよう、冬期間の練習や遠征を精力的に行う予定です。また、開かれた練習場を目指していますので、高校生のみならず、地域の小学生や中学生、一般の方々も是非おいでください。ご連絡をお待ちしております。

スペシャリストに音を学ぶ

10月23日(水)に、本校音楽堂合奏室を会場に、県内を中心に活動されている、「トリオ・アラモーレ」のみなさんに演奏して頂きました。ソプラノの高橋まり子さん、ピアノの須藤恵美子さん、チェロ奏者の増川大輔さんの3人組で、増川さんは映画「おくりびと」で主演の本木雅弘氏にチェロを指導するなど、様々な方面で活躍されておられるグループです。当日は楽しいトークや、音楽的な話を交えながら「アヴェ・マリア」「帰れソレントへ」「おくりびと」など、アンコールを含めレパートリー12曲を披露してくださいました。



また、12月7日(土)には、武蔵野音楽大学ピアノ科准教授の永岡信幸先生に公開レッスンをして頂きました。今年は1年生2名、3年生1名でレッスンを受けました。「ピアノは指の力だけで、鍵盤をつかむように弾く」「背中が丸くならないように」「作曲家がどの国の出身でどの国の言葉で作られているか」「作曲家は何の音(歌かオーケストラかばど)でこの曲を作ったと思うか」など技術的な指導だけでなく作曲家のことや歴史背景などを学ぶことが大事だと音楽を演奏する上でのアドバイスをいただきました。



PTA研修、保護者16名で米沢へ

今年は、10月7日(月)に米沢女子短期大学と山形大学工学部を訪問しました。

米沢女子短大は、健康栄養学科が、26年4月から「県立米沢栄養大学」になることから県内でも注目を集めています。完成間近の新校舎はいよいよまだシートに覆われていましたが、懇切丁寧な説明をいただきました。また、短大の各学科は、国公立大学3年生へ編入希望者への指導が充実しており、高い実績があることを学びました。



山形大学工学部では、本校卒業生の外崎幸佑君と佐藤美幸さんからも大学生活や将来の夢などについてお話をしてもらいました。世界最高の研究施設である有機エレクトロニクス研究センターでは、世界最先端の有機EL技術に関する説明を受けながら施設の見学をしました。研究室では、かの有名な城戸教授の姿も拝見できました。

大学カフェテリアでの昼食時間や行き帰りのバスの中では、学年を越えて保護者の情報交換もあり、有意義な一日となりました。



二年次大学模擬授業

去る12月12日、山形大学をはじめとする5つの大学および専門学校1校から講師をお招きして、大学の授業について概要を聞いたり、実際の講義を受けたりしました。公務員希望者にむけた講座を含めて10の分科会に分かれ、生徒たちは大変熱心に参加していました。進路目標がより具体化できたのではないのでしょうか。



英語特別講義

10月4日(金)、山形大学地域教育文化学部講師のジェリー・ミラー先生に「アメリカ人の習慣」について楽しく語っていただきました。「アメリカでは結婚式で新郎新婦がケーキをお互いの顔にぶつけ合う」「子供が抜けた乳歯を枕の下に入れて寝ると、翌朝歯の妖精がそれをコインに交換してくれる」等々、次々飛び出すお話に、みんな目を点にして聞いていました。



グローバル講演会

国際化時代の中、今後の進路に留学という選択肢も含めて考えてもらう機会を得てもらおうと、12月13日(金)グローバル講演会が実施されました。日本の人口が減少していく中、日本企業も海外市場を開拓していかないと生き残れない時代です。世界に羽ばたけ西高生！

